かや たかゆきのほうれんそう

議会の報告　後援会の連絡　皆さんからの相談

愛川町議会議員

特別号
第15号

４年間の実績と成果！これからの「愛のあるまちづくり」

４年前に愛川町議会選挙で初当選して皆さまのおかげで様々な政治活動を行いました。出馬当初に掲げた政策を「有言実行」を信念に１００％の提言をしました。そして町民の皆さまの声を町政に届けるために「スピード感」を持って行動してきました！
この4年間の実績と成果、そしてこれからのまちづくりを特別号としてお届けします。

健康で長生きするために

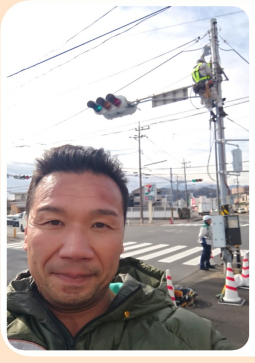
人生100歳時代の中、健康で長生きして豊かな人生を過ごしてもらう為に、町民の皆さんに健康診断であったり地域のイベントに参加してポイントを貰う「健康ポイント」をさらに推し進めるために、ポイントで還元できる品物に「あいちゃん商店会」で使える商品券を追加を実現しました。この事により「町の商店の活性化×町民の健康」と町全体の活性化に繋げることが出来ました。これからも愛川町を「健康長寿の町」にするよう健康寿命を伸ばす取り組みを行います。

宝物の赤ちゃんのために

産まれた赤ちゃんは、これからの愛川町を担う大切な存在です。愛情を持って愛川町で育てられるようにベビーシッター制度を新設しました。そして愛川町の土で育った檜などで作った積み木を1歳児にプレゼントする「健やか応援記念品」事業を実現しました。
これからも、産まれてくる赤ちゃんのための事業を行います。

安心した暮らしのために

日々の生活の中で危険なことは沢山あります。しかし安心を心掛けたまちづくりを行えば、危険が減り、安心して生活が出来ます。危険な箇所であった中津太田交差点に歩行者用信号機の設置や菅原小学校付近の歩道用ポールを設置して歩行者の安全を確保しました。
これからも安心して暮らせるまちづくりを行います。



生産年齢人口増加のために

「若者が集うまち」は活気ある町です。そして、これからの愛川町を担う大切な存在です。より多くの若者に愛川町に住んでもらえる取り組みとして「新婚生活応援事業」の補助金の増額をしました。これからも「若者から子育て世代」が活躍できる生産年齢人口を増加する環境整備に努め、愛のあるまちづくりを行います。

かや たかゆきの政治理念

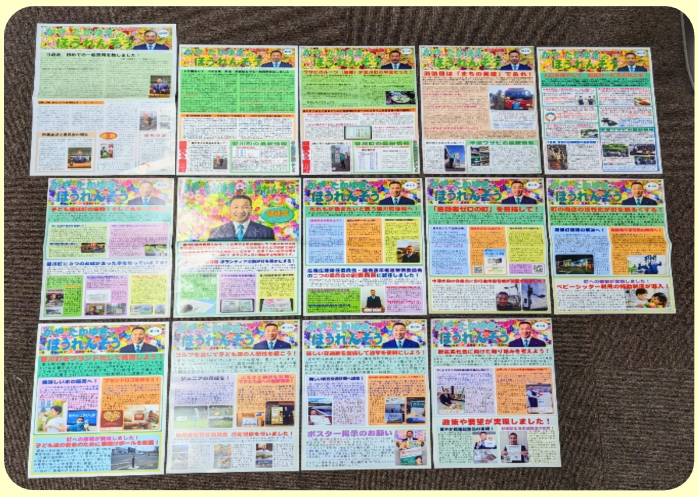
愛川町に生まれた子ども達が、沢山の地域の方々と愛を持って触れ合いながら成長し「大人になっても生まれ育った愛川町で仕事がしたい」「結婚しても自分の子どもを愛川町で育てたい」と思えるような地域愛醸成の環境整備をします。その為には愛川町で仕事が出来るよう商・工・農を充実させて地域経済のボトムアップを図り、雇用を促進し「やりがい」のある地域に根差した仕事が出来るように質の向上を目指します。

そして定年後も、地域コミュニティや子ども達とのふれあいを通じ、健康寿命を延ばして幸せな人生を送れるような、豊かな社会を創造していきます。さらに、町民のボランティア意識を向上させ、みんなで自分達の「まち」を良くしようと思う人達の輪を広げ「愛川町の夢と希望」を次世代に繋げていきます。

心豊かな子育てから始まり、地域愛を持った教育、そして生きがいを持った仕事をして、老後は健康で地域や子ども達の為に生きていける０歳から１００歳までの循環型社会の「愛のあるまちづくり」を目指します。

４年間 一般質問で町に提言しました！

当選後から毎議会ごとに15回の一般質問を行ってきました。「町民の皆さまのため」「これからの愛川町の発展のため」「子ども達が誇れる町にするため」を第一に考え、初出馬の時に掲げた政策である「皆さまとの約束」を実現するために様々な角度から町に提言を行いました。



かや たかゆきのほうれんそうは、議会の報告「ほう」、後援会からの連絡「れん」、町民の皆さまからの相談「そう」をする為に初当選後から今回までの4年間で15回発行を行いました。私は議員になる前は町議会議員がどのような仕事をしているのか見えていませんでした。なので、私自身が町民の皆さまに議員の仕事をもっと身近に感じてもらい、もっと町政に興味や関心を持ってもらえるように「かやたかゆきのほうれんそう」と名づけて発行させて頂きました。

おかげさまで、沢山の方々に町政を知ってもらえたり、色々な相談を頂いて解決することが出来ました。これからも町民の皆さまと共に愛川町を「愛が溢れる町」にする為に、これからも発行を続けて参ります。

3・6・9・12月議会が行われる月に新聞折込やポスティングにて発行しています。 ご連絡を頂ければ私が直接お届けしています。 090-3695-9357

美味しいシリカ水を広めよう！

神奈川工科大学さんに協力してもらい1年をかけて愛川町の水を調べたら美容と健康によい「シリカ」が多く含まれていました。なので、もっと多くの人に飲んでもらえるように役場等に給水スタンドの設置を要望しました。

ふるさと納税で税収UPへ！

愛川町には多くのゴルフ場があります。ゴルフ場にふるさと納税の自動販売機を設置をして税収を増やす要望をし、増えた税収は子ども達のスポーツ育成のために使うように要望しました。

フードドライブを広めよう！

「つくる責任・つかう責任」として、ロスしてしまう食べ物を町内から多く集め、フードパントリーさんが生活困窮者やひとり親家庭にお配りすることで多くの生活弱者が助かる事業なので、この事業を拡大することを要望しました。

自殺者ゼロの町を目指して！

町内には様々な悩みを抱えて苦しんでいる方もいます。「だれ一人取り残さない社会」を目指すために自殺防止対策として、悩みを抱えた方に寄り添い、助けられるゲートキーパーを1人でも多く増やしていく取り組みを要望しました。

津久井リニアモーターカーの車両基地と愛川町を繋げよう！

津久井鳥屋地区にリニアの車両基地が出来ます。橋本から鳥屋の間を旅客化出来るように町として動いていくように要望しました。そして愛川町から鳥屋までの交通網を整備する事を要望しました。

子ども会で地域愛を育てよう！

私は小さい頃、子ども会に入っていたから愛川町が大好きになり、地域愛が生まれました。子ども会を存続させる取り組みや地域で子ども達を育てる取り組みを要望しました。これからも愛川町の宝である子ども達の地域愛醸成に取り組みます。

若者を増加させるまちづくり

企業の誘致をより行う事で雇用が生まれ、生産年齢人口が増やせます。そして自然豊かな愛川町で農業者を増やす取り組みなどを要望しました。愛川町で育った子ども達が愛川町で働ける環境づくりも要望しました。

フィルムコミッションを強化して愛川町を有名にしよう！

愛川町の魅力をより多くの人々に知ってもらう事で移住者が増えて町の活性化に繋がります。メディア露出を増やすことがまちづくりに繋がり、観光の経済効果を呼ぶので、フィルムコミッションの強化を要望しました。

消防団は町の英雄であれ！

消防団は火災の時だけの活動ではなく、「自分達の町は自分達で守る」という町の事を想う大切な青年です。

団員を拡大する支援方法や福利厚生の充実を要望しました。

かや　たかゆきが行っているまちづくり！

私は議員活動だけではなく、様々なまちづくりボランティア活動を行っています。「自分の住んでいる町や人を良くしようと思う人が多い町は、自ずと良い町になってきます。」 私自身、沢山のボランティア活動をしてきた経験を活かして、ボランティア団体と町政の懸け橋役となり、まちづくり活動や団体の活動協力をしています。

半原ワサビでまちづくり

半原で育つ「半原ワサビ」は日本のワサビの原種であることがわかり議会において取り上げました。これをスタートに愛川町の若手生産者や町内の飲食店、まちづくりが好きな人が集まり半原ワサビまちづくりプロジェクトを設立しました。NHKをはじめ、様々なメディアに出演させて頂きました。

八菅橋令和の広場推進協議会

私は小さい頃から八菅橋付近の中津川で遊んで育ちました。八菅橋付近を広場にして地域の活性化をさせる八菅橋令和の広場推進協議会の相談役として活動しています。候補地付近の草刈り活動やお散歩看板の設置、絶滅危惧植物の「ツメレンゲ」の保護も行っています。

障がい者に優しい町を目指して

障がい者支援団体 NPO法人ライラック心の会の理事として、障がいを持つ方やお子さんを相談から就労まで様々な角度から支援しています。その他にも自殺防止活動をしたり、愛川町を障がい者に優しい町を目指して活動します。

農業を通じたまちづくり

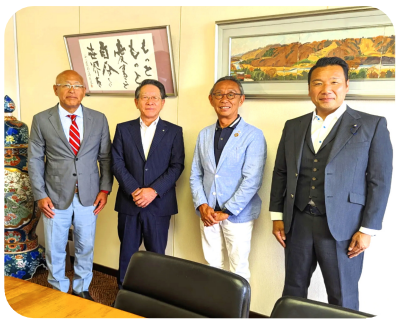
高齢者の方に遊休農地で再び農業をしてもらい、作られた野菜を買い物困窮者の所へ移動販売をするNPO法人ラグレーヌの相談役で活動をしています。子ども達に愛川町の土で作られた野菜の収穫体験なども行っています。

若者たちとのまちづくり

県立愛川高等学校のまちづくりに興味がある生徒と共に、今後の愛川町のまちづくりについて考えたりしています。これからの愛川町を担う人材育成にも力を入れて行きます。

古民家再生のまちづくり

古民家を再生させるまちづくりを行っている一般社団法人古民家再生協会相模さんと共に、愛川町の古民家を再生させ、利活用のまちづくりに取り組んでいます。



ずっと綺麗な中津川を

2万4千人を超える会員さんがいる日本単独野営協会さんと協力して、河川敷の美化活動や河川敷を使うマナー向上、啓発活動を行ったり情報交換をしています。

かや　たかゆきの役職や活動のご紹介

議員の仕事は様々なことがあります。町の予算をチェックする事や自分の政策やまちづくりを提案する一般質問。それ以外にも議会の中で委員会の仕事があります。 そして、町に関係する様々な団体にも所属したり、役職を担っています。

議会改革推進特別委員会
広報広聴常任委員会　副委員長

〇議会改革推進特別委員会の副委員長として議会のICT化に向けた取り組みや議員定数削減について取り組みました。

〇広報広聴常任委員会の副委員長としては、町民の皆さんからの声を聴く意見交換会の開催や議会だよりの編集などを行いました。

愛川町ゴルフ協会 理事

30代からゴルフ協会の会員になっていましたが令和5年度から理事に就任しました。協会を代表してジュニア育成をする「特定非営利活動法人ファースト・ティ・オブ・ジャパン」の研修を受けてコーチとなりました。

愛川町社会教育 委員

愛川町青少年指導員連絡協議会の代表として愛川町社会教育委員となっています。令和4年度には神奈川県の社会教育委員の大会が愛川町で開催され、総合司会と分科会で発表をさせて頂きました。

「かや たかゆき」はどんなひと？

かや たかゆき（茅 孝之）1974年1月3日生まれ **49歳**

愛川町 二井坂区に生まれ、二井坂区で育ち、二井坂区で花儀（はなよし）という父から受け継いだ創業60年目の花屋の仕事と、令和4年5月から愛川町を障がい者に優しい町にするために熊坂区にて障がい者施設「グループホームみんなのえがお」を開設しました。

中津保育園➡中津小学校➡愛川東中学校➡県立愛川高等学校➡日本フラワーカレッジ卒

○趣味

長男25歳・次男23歳

20歳からゴルフを始めました。妻とお揃いのあいちゃんヘッドカバーです。

ウエイトトレーニングで身体を鍛えるのが好きです。ベンチプレスMAX130KG

3年前から陶芸を始めました。中津の「陶工房くれい」さんにて教わっています

心が落ち着く神社巡りが好きです。初詣は靖国神社・神田明神に参拝します

最近のマイブームは妻と一緒にピラティスや大相撲観戦をしています。

ボランティア活動がきっかけで愛川町議会議員を目指しました！

私のボランティア活動は、20歳の時に消防団に入部した時から始まり、29年が経ちました。現在では、愛川町子ども会連絡協議会、青少年指導員、社会教育委員、消防団支援隊など様々な活動を行っています。このボランティア活動を通じ、愛川町を**「もっと素晴らしい町にしたい」**という想いで議員を目指しました。

消防団・消防団支援隊・3−3OB会長

11年間の現役団員後は、現在もOB会長や消防団支援隊の設立から隊員と町消防団のために活動にしています。

愛川町子ども会連絡協議会

子ども達の笑顔のために、今年の11月11日に開催する中津小学校ふれあいレクリエーションの実行委員長を行います。

公益社団法人 厚木青年会議所

厚木・愛川・清川のまちづくり団体で第46代の理事長を経験させて頂きました。この経験が議員に活かされています。

愛川町青少年指導員

二井坂区を代表して活動しています。ジュニアリーダーズクラブと力を合わせて子ども達のために事業を行ってます。

二井坂区自治会 役員

生まれ育った二井坂区に恩返しをするために庶務の役員を行いました。地元の方と触れ合えて、仲良くなれました。

愛甲商工会 青年部

愛甲郡の商工業の活性化させる若手団体で様々な役職を経験し、県央の主張大会では最優秀賞を頂きました。

あいちゃん商店会 初代会長

20歳から中津中央商店会で活動し、あいちゃん商店会の初代会長になり、町の商店の活性化にも力を入れています。

その他の経歴（会員・賛助会員）

- NPO法人 防犯パトロールブルーライン
- あいかわ町災害ボランティアネットワーク
- あいちゃんサービス
- 愛川高等学校 明日楓会
- 公益社団法人 商連かながわ
- 座間自衛隊協力会

議員としての経歴（会員・委員）

- 大山丹沢山系鳥獣等問題市町村議員連絡協議会
- 愛川町国民健康保険運営協議会
- 小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
- 愛川町青少年問題協議会
- 上飯山・中津・上依知線道路整備促進協議会
- 鳶尾山対策協議会

かや たかゆき後援会に入りませんか？

私と一緒に愛川町のまちづくりをしませんか?沢山の力でまちづくりを行う事で町は動きます。是非、後援会に入会してもらい愛川町をもっと素晴らしい町にしていきましょう♪

ご連絡頂ければ私が直接ご挨拶に伺わせて頂きます。
090−3695−9357

会員相互の楽しいイベントも開催しています♪

バックナンバーをご覧いただけます！

「かや たかゆきのほうれんそう」もお陰様で第15号となりました。途中からご覧頂いた方のためにバックナンバーを、かやたかゆき公式ホームページにてご覧いただけますので、是非ご覧ください！右にあるQRコードからご覧頂けます。

編集後記

初当選から4年間を振り返りながら15号を作りました。ほうれんそうを通じて町民の皆さまからアドバイスなどを頂き、自分の中でも成長できた4年間でした。しかし今までの4年間は、綺麗な花を咲かせるために畑を耕して種を蒔いた所です。これからは蒔いた種を大切に育て、立派な花を咲かせるために次のステップに向かいます。

これからも愛川町の未来を第1に考えた「愛のあるまちづくり」を行って参ります。

次号の新聞折込は12月8日金曜日を予定しています。

発 行 日：2023年 9月 1日　第15号　討議資料
編集・発行：かや たかゆき後援会

連 絡 先：愛川町中津3552
℡090-3695-9357　Fax 046-286-7872　Mail takayuki@8744.co.jp

愛のあるまちづくり